

平成 19 年度当初予算 施策別概要

234 技術の高度化の促進

- (主担当部：政策部科学技術振興センター)
- 23401 新分野への展開をはかる技術開発の推進
(政策部科学技術振興センター)
 - 23402 地域産業を支援するための技術開発の推進
(政策部科学技術振興センター)
 - 23403 県内企業への技術支援の推進
(政策部科学技術振興センター)

< 施策の目的 >

(対象) 県内企業が

(意図) 研究機関の研究成果や研究基盤を活用して、新技術の開発や基盤的技術の高度化を進めている

< 施策の数値目標 >

施策目標 項 目 (主指標)	企業で活用された研究成果件数	目標値	57 件
		現状値	52 件 (2005 年度)

過去 5 年間の研究事業から生み出された研究成果のうち、次の 3 項目のいずれかに該当する、研究成果が活用された件数 技術移転、 特許等の実施許諾、 研究成果の製品・商品化 (科学技術振興センター調べ)

県の取組 目標項目 (副指標)	技術支援件数	目標値	11,500 件
		現状値	10,613 件 (2005 年度)

< 現状と課題 >

- ・ 県内の産業界は、国際間、地域間競争や急激な技術革新に直面しており、県内企業が産業競争力を高めるためには、新産業分野への展開や新産業の創出、地域産業の高度化を促進していく必要があります。
- ・ 産学官の連携を一層強化して、企業における独創的な技術開発を促進し、技術の高度化をはかっていくことが重要となっています。
- ・ 企業ニーズに応じた技術支援の充実や、企業における技術人材の育成などが求められています。

< 平成 19 年度の取組方向 >

県内企業の新産業分野への展開や市場ニーズの拡大に対応する分野への展開につなげるため、産学官の連携を推進して、燃料電池の普及促進や地域天然資源の有効活用のための技術開発などに取り組みます。

地域産業の高度化をはかるため、機械部品の生産技術の高度化や鋳物・陶磁器製品のブランド化につながる技術開発に取り組めます。

中小企業における知的財産権の導入・活用の支援を行うとともに、技術相談を始めとする、研究基盤を生かした依頼試験や機器開放などの技術支援の充実や、企業の技術力向上のために技術人材

の育成に取り組みます。

< 主な事業 >

燃料電池実用化戦略的技術開発事業費

【基本事業名：23401 新分野への展開をはかる技術開発の推進】

当初予算額： 33,495千円 33,495千円

事業概要：県内企業の燃料電池関連技術の高度化と同産業の集積によって新分野の展開に繋がる産業を振興するため、燃料電池の部材（セパレータ）の耐久性向上に向けた基盤技術の研究開発に取り組みます。

(新) 高温炉の熱を利用する熱電変換材料の開発研究事業費

【基本事業名：23401 新分野への展開をはかる技術開発の推進】

当初予算額： - 千円 3,250千円

事業概要：地球温暖化防止を図るために二酸化炭素の排出抑制が求められ、産業界では環境分野の新たな産業技術の開発が期待されています。そこで、先端的な新分野を開拓するため、産業界で多く使われている高温炉の熱を電気に変換するセラミックス材料の開発に向けた研究開発に取り組みます。

(新)(重) 三重のやきものフレッシュアップ事業費

【基本事業名：23402 地域産業を支援するための技術開発の推進】

当初予算額： - 千円 3,000千円

事業概要：県内陶磁器産業の活性化を図るため、新機能を付与した陶磁器釉薬と素地の開発、従来製品の潜在機能の強化を図り、地域企業との共同研究による付加価値の高い新商品の開発につなげます。

(新)(重) 鋳造技術集積を生かした新製品開発支援事業費

【基本事業名：23402 地域産業を支援するための技術開発の推進】

当初予算額： - 千円 2,000千円

事業概要：北勢地域の鋳物技術集積を生かし、機械・情報・通信等の新規分野を開拓する新製品開発を技術面で支援します。また、企業の製品開発、販売促進等、事業の立ち上げを研究会や共同研究により支援し、地域産業の活性化を促進します。

(新) 中小企業の技術開発人材育成事業費 【基本事業名：23403 県内企業への技術支援の推進】

当初予算額： - 千円 1,026千円

事業概要：中小企業の技術者を対象として、生産技術や品質管理、試験評価技術の習得を目的とした「基盤技術研修講座」と、ITや電子制御、技術開発動向など最新情報を習得し、技術開発に活用することを目的とした「先進技術セミナー」を開催します。